

# たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

<http://www.tamakyo.com/>

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います



## 謹賀新年 2024

### 新年のご挨拶

玉島協同病院 院長 進藤 真

#### 新年明けましておめでとうございます。

昨年は引き続きコロナ禍の中でも感染対策に留意して各種の集会、会合、研修会などが再開されました。当院でも班会や地域の健康展への職員参加や院外の介護施設の職員との学習会の再開、心不全を通じた玉島中央病院との連携の会など、地域の方々や医療機関、介護施設との交流を行ってきました。

物価上昇や医療介護負担の増額、非正規を初めとした雇用状況の悪化など生きづらさ、医療機関へのかかりづらさが進む中、当院では昨年より経済的な理由により医療費の支払いが困難な方に対し、費用の免除をおこなう無料低額診療事業を開始しました。

地域では高齢化が進み、独居や高齢者のみの世帯の方々が増加しています。介護保険や公共のサービスの支援だけでは限りのある中、通いの場や見守りシステム、送迎サービスなど地域では工夫を凝らした様々な取り組みがみられますが充分なものとは言えません。当院ではこれからも地域の皆様、諸団体、自治体、医療介護施設との連携を進めて地域で暮らす人々を支える医療機関としての役割を果たしていきたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

2024年 元旦



玉島協同病院は無低診事業を行っています。お気軽にご相談下さい。

玉島西中学校 事業所訪問

白衣に着替えて病院体験

11月14日、玉島西中学校1年生の事業所訪問が開催されました。

今回、放射線係と外来の2つの部署を見学してもらい、その後当院の職員が質問に答えました。携帯電話をレントゲンで撮影して画像をみる体験や、外来で実際に使用しているN-95マスクをつける体験してもらいました。普段学校では学ぶことのできない病院のあれこれを知ってもらえた良い機会になりました。「一年間に何人入院するの?」「やりがいは何?」といった質問から、「給料はいくらもらえますか?」と

いった質問まで、看護師や薬剤師、ソーシャルワーカーなど多職種の職員が答えました。元気いっぱい (地域連携室 日笠 未久)

加集万里子の お料理教室 シーズ180



北海道のバター餅風



北海道のお土産ランキングで上位になるくらい人気です。余った餅の消費に役立ちます。

材料 (餅3個を使って)

- 餅 3個、卵黄 2分の1、水 大さじ2、バター 大さじ1、砂糖 大さじ2.5、片栗粉 大さじ2分の1、塩 ひとつまみ

作り方

- 1. パットにラップを敷いて片栗粉をうすくふっておく。耐熱ボウルに半分に切った餅と水大さじ2を入れ、ラップをかけ約2分~3分レンジ加熱し餅を柔らかくする。残った水分は捨てなくても良い。木のへらでぐるぐると混ぜ、より柔らかくする。まだ固いときは加熱を30秒ずつ追加する。
2. 砂糖・塩・卵黄を加え、よく混ぜる。
3. バターを入れ、溶かしながら混ぜ込む。混ぜりにくくても、片栗粉を大さじ2分の1加えたらよく混ぜる。手に片栗粉をつけ、全体がまとまるくらい軽くこねて、用意したパットに平らになるように入れる。
4. 少しおいて切りやすくなったら、包丁に片栗粉をつけながら一口サイズに切る。

砂糖の量は好みで増やしてもいいです。フライパンでバターを少し溶かし焦がしバター焼きも美味しいですね。

看護補助者 介護職員

募集



資格不要! お気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ先 TEL: 086-523-1234 担当/池田

地域とより密な連携を強化

地域連携室では毎月、入院支援看護師とソーシャルワーカーが地域の日頃よく連携を取っている介護施設へ訪問を行っています。訪問した際は、病院や施設の近況等について情報交換を行うだけでなく、当院から退院された患者さんのその後のご様子をお伺いしたり、病院への要望をお伺いしたりもしています。普段は電話でやりとりする機会が多いですが、直接顔を合わせて話をすることで、些細な相談もしやすくなりますし、施設の雰囲気や様子も直接見て把握ができるので、入院支援を行う上でも役に立っています。

患者さんやそのご家族が、住み慣れた玉島地域で安心して生活を送ることができるお手伝いするのが私たちの役割でもあります。病院単体での支援は限界があります。

今後も訪問を通して、地域の施設の方々と顔の見える連携や丁寧な繋がり作りを続けていきたいと思ひます。(地域連携室 西村 みゆき)

地域に飛び出し健康相談

11月10日、南浦ミニ健康展が行われました。



健康相談の様子

水島協同病院から研修医2名と、当院からは外来看護師1名、病棟看護師1名、医療ソーシャルワーカー2名、事務2名が参加し、健康に関すること・普段の生活で困っていることなど皆さんから話を伺いました。新型コロナウイルスの流行もあり、久しぶりの開催で、私自身も入職後、初めての参加でした。当日はあ

いにくの雨で参加者は今までより少なかったようですが、当院のブース席に座られた方はお元気な方が多く、こちらまでパワをいただきました。健康展は病院から地域に飛び出して、普段はこちらからは見えにくい地域の方の困りや悩みをキャッチすることができ、貴重な場です。このよう玉島地域の方と実際に顔を合わせる機会をこれからも大切にしたいと思ひます。(相談室 西岡 美紀)

玉島協同病院はカルテを開示しています



進藤院長が 倉敷市保健福祉功労者 表彰を授与されました